

東京  
芸術  
劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre



©読売日本交響楽団 (撮影:青柳聡)

# S. スクロヴァ チェフスキ 読売日本交響楽団 演奏会

スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ | 指揮 |  
Stanislaw Skrowaczewski (Conductor)

ベルント・グレンザー | ピアノ |  
Bernd Glemser (Piano)

読売日本交響楽団 | 管弦楽 |  
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo

**F. ショパン** | **ピアノ協奏曲第1番 ホ短調**

F. Chopin Concerto pour piano et orchestre op.11

**D. ショスタコーヴィチ** | **交響曲第5番 二短調**

D. Shostakovich Symphony No.5 in D minor, Op.47

**2013.10.4** **金**

**15:00 開演 (14:00 ロビー開場)**

**東京芸術劇場コンサートホール**

主催：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)  
<http://www.geigeki.jp/>

事業提携：読売日本交響楽団

※公演内容につきましては変更が生じる場合がございますのでご了承下さい。

※演奏中の入・退場、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。

※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入頂きましたチケットのキャンセル・変更はお受けできません。

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。



© 読売新聞社/交響楽団 (撮影・青柳聡)

## ウィークデイの昼下がり、芸劇コンサートホールで聴く世界レヴェルのコンサート！

東京芸術劇場は1年半にわたる改修工事を行い、昨年リニューアルオープン。ハード面、音響面を一新し、コンサートホールとして再出発をした。その装いも新たなホールの新シリーズとして「世界のマエストロシリーズ」と冠し、事業提携を行う読響のオーケストラ公演を開催。

第1回目となる今回は平日マチネとして、90才を迎えた桂冠名誉指揮者の巨匠・スクロヴァチェフスキを迎え、得意の20世紀音楽か

らショスタコーヴィチ交響曲第5番、「お国もの」としてシヨパンピアノ協奏曲第1番を取り上げる。前者はマーキュリーに録音した手兵ミネソタ管との録音、後者でのルービンシュタインとの名盤は今も定番の名演奏としてクラシックファンの中に深い印象を与え続けている18番(おハコ)ともいえるプログラミング。初共演となるグレムザーはロマン派を最も得意としているドイツを代表するベテランのヴィルトゥオーソピアニスト。必聴の記憶に残る大名演が期待される。

### スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ (指揮) Stanislaw Skrowaczewski

1923年10月3日、ポーランドのリヴォフ（現在はウクライナ領）に生まれる。4歳でヴァイオリンとピアノを始め、7歳でオーケストラ曲を書き、11歳で公式リサイタルを開いてピアニストとしてデビュー。13歳の時にはベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を弾き振りするほどの神童だったという。しかし、第二次大戦中に空襲で負った手の傷が元で、ピアニストの道を断念。以降、作曲と指揮の勉強に向かった。大戦終結後、クラクフでワルシャワ・フィルを指揮した際、時のフランス大使が感動したことが縁で、奨学金を受けて2年間、パリに留学。まだ、西側に出ることが困難な時代だったが、そのパリで熱心に作曲を学んだ。

1940年代後半から本格的な指揮活動に入り、1946年、プロツワ・フィルの指揮者を務めた後、カトヴィツェ・フィル(1949-54年)、クラクフ・フィル(1954-56年)、ワルシャワ国立響(1956-59年)の音楽監督などを歴任。この間、1956年にローマの国際指揮者コンクールで優勝し、1958年にはクリーヴランド管を指揮してアメリカ・デビューを果たした。以後、ニューヨーク・フィル、ピッツバーグ響、シンシナティ響に客演している。

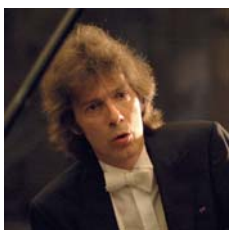
その後、1960年から20年近くにわたってミネソタ管(旧ミネアポリス響、1968年に改称)の音楽監督を務めた。ワルシャワ国立響の首席指揮者に続いて、1984-91年には英・ハレ管の首席指揮者を務め、現在はミネソタ管の桂冠指揮者のほかザールブリュッケン・カイザー・スラウテルン・ドイツ放送フィルの首席客演指揮者でもある。アメリカ国籍を得て、ミネアポリスを拠点に世界各地で活躍している。2011年5月には25年ぶりにベルリン・フィルに客演し、絶賛を博した。ブルックナーの指揮では世界的に定評があり、ブルックナー交響曲の解釈でマレーナー・ブルックナー協会から金メダルも授与されている。ザールブリュッケン放送響との「ブルックナー交響曲全集」は世界中で賞賛され、「カンヌクラシック大賞 2002(19世紀管弦楽作品部門)」を受賞している。読売日本交響楽団とは1978年に初共演して以来、2000年、02年、05年と演奏を重ね、同年末には「第九」を指揮。2007年4月、第8代常任指揮者に就任した。2010年4月より、桂冠名誉指揮者。



© 読売新聞社/交響楽団 (撮影・青柳聡)

### ベルント・グレムザー (ピアノ) Bernd Glemser

1962年ドイツ生まれ。名教師ヴィターリ・マルグリスへピアノを学び、ミュンヘン国際コンクール等17の国際選抜大会に優勝、入賞して注目を集める。ラフマニノフのスペシャリストとして知られ、ヴォルフガング・サヴァリッシュ指揮フィルデルフィア管弦楽団、アントニー・ウィット指揮ポーランド放送交響楽団、オスモ・ヴアンスカ指揮ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団等と共演。録音を行って絶賛を博すほか、ヘルベルト・ブロムシュテット、ジョン・ミョンファン、リッカルド・シャイー、ドミトリー・キタエニコフ、ネメ・ヤルヴィ、フランツ・ヴェルザー＝メスト、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、ザールブリュッケン放送交響楽団、カメラータ・ザルツブルク、ヨーロッパ室内管弦楽団、ライプツィヒ管弦楽四重奏団、ロータス管弦楽四重奏団、ゲルムルト・オピッツ、マリア・クレーゲル等一流演奏家と多彩な活動を展開している。一方、教育の分野では、1989年ドイツ最年少をもってザールブリュッケン音楽大学教授へ就任、現在はヴュルツブルク音楽大学で後進の指導に当たる。1992年ハンガリー政府アンドール・フォルデス賞、1993年EU欧州ピアニスト賞各受賞、2003年ドイツ連邦共和国十勲章叙位。技巧、解釈とも優れたドイツを代表するピアニストの一人で、ナクソス、エムス等にバッハ、ブラームス、シヨパン、シューマン、チャイコフスキー、ラフマニノフ、プロコフィエフ、スクリャーピン等多数のCDアルバムがある。



#### チケットの取扱

※東京文化会館友の会割引有り(S、A席10%割引、東京文化会館チケットサービスのみ取扱。  
※6月4日(火)前売開始☆割増メンバーズ先行5月29日(木)☆

**S** ¥6,000 **A** ¥5,000 **B** ¥4,000 **C** ¥3,000 **D** ¥2,000

#### ●東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/>

#### ●チケットぴあ

0570-02-9999

(24時間・音声自動応答 Pコード:199-218)

#### ●イープラス: <http://eplus.jp/>

#### ●東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650

#### ●ローソンチケット

0570-000-407

(オペレーター対応10:00~20:00)

0570-084-003

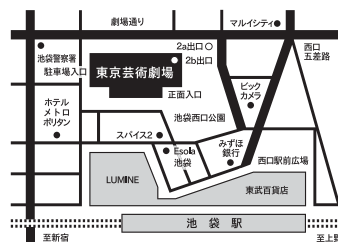
(音声自動応答 Lコード:38615)

### 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1  
TEL:03-5391-2111

<アクセス> JR、東武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、池袋駅西口西池袋通の2分出口で直結しています。



#### キッズルームミュージアムのご案内

東京芸術劇場でご鑑賞の際には、キッズルームをご利用いただけます！(要予約)

利用時間:開演1時間前から終演後30分まで  
利用料金:生後4ヶ月~1歳児:2,000円 2~6歳児:1,000円

\*予約申し込み・詳細は、下記にお問い合わせください。  
申込み・問合せ先:芸劇キッズルームミュージアム TEL:03-3981-7003